

ヤマハ、「D&I AWARD 2025」で最高評価 「ベストワークプレイス」を4年連続で取得

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）に取り組む企業を認定する日本最大のアワード「D&I AWARD^{※1} 2025」において、最高評価である「ベストワークプレイス」を4年連続で取得したことをお知らせいたします。



「D&I AWARD 2025」ベストワークプレイス認定ロゴマーク

ヤマハグループは、人材の多様性を新たな価値創出の源泉と捉えています。その前提である公平性に配慮するとともに、それぞれの個性を尊重し生かすことで、企業競争力の強化や成長・発展とサステナブルな社会の実現を目指しています。「ヤマハグループ DE&I 方針」を定め、多様性・公平性・包摂性の重要性を継続的に発信し、環境の整備に取り組んでいます。

「D&I AWARD 2025」において評価対象となった主な取り組みは以下の通りです。

1. 多様な人材が力を発揮できる、公平で開かれた環境の整備

育児と仕事の両立支援では、フレックス勤務が可能な育児短時間勤務や法定を上回る育児休職制度を拡充し、「男性育休取得率 85%以上」および「時間外 60 時間/月・540 時間/年の超過者ゼロ」を目標として運用しています。産後パパ育休の分割取得に対応し、出生支援休暇と組み合わせて利用しやすい制度設計を推進し、家族で計画を立てられる「育休ミーティングシート」も提供しています。介護との両立支援では、法定を上回る介護休職や、介護事由が終了するまで取得可能な短日、短時間勤務など、制度整備と拡充を続けています。

また、女性の活躍と意思決定への参画を加速するために女性活躍推進部会を設置し、女性リーダーの継続的育成・創出を主導しています。さらに 30% Club^{※2} Japan への加盟や WEPs^{※3} 署名など、トップコミットメントのもと取り組みを強化しています。

2. 従業員リソースグループ（ERG）制度の導入

当社では 2024 年、従業員の自発的な活動を継続的に支援するため、従業員が自由意思で参加し、社会的な目的に基づく活動を行う「従業員リソースグループ（ERG）制度」を導入しました。

ERG は、主体的な学びと連帯を通じてインクルーシブな組織風土を育み、参加従業員の働く意欲・働きがいを高めるとともに、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上に寄与することを目的としています。「ジェンダー」を起点とした既存の活動を ERG として認定したほか、「LGBTQ+」「社内組織開発」、さらには「ものづくり」をテーマにした ERG が 2025 年に発足し、従業員の活動を後押ししています。



「東京プライド 2025」に参画した「Yamaha Rainbow ERG」



組織開発をテーマに結成された ERG「WAKU WAKU BEE」

<当社コメント>

執行役業務本部長 徳弘太郎



ヤマハグループは、人材の多様性を新たな価値創造の源泉と考えています。多様な人材の豊かな個性（ダイバーシティ）を活かすためには、自分らしさが賞賛される組織風土（インクルージョン）と、活躍を応援する環境・仕組み（エクイティ）が土台として必要不可欠だと考えています。今後も DE&I の推進に取り組み、新たな価値創造を通じて、世界中の人々のこころ豊かなくらしの実現に努めてまいります。

※1 D&I AWARD：日本で活動する企業の D&I の取組みが独自の評価指標で採点され、スコアに応じて 4 段階「ビギナー」「スタンダード」「アドバンス」「ベストワークプレイス」の認定が与えられる

※2 30% Club：2010 年に英国で創設された、取締役会を含む企業の重要意思決定機関に占める女性割合の向上を目的とした世界的キャンペーンで、現在 20 カ国以上で展開。30% Club Japan は、経営トップがメンバーとなり、2030 年に TOPIX100 の女性役員割合を 30%にする目標を掲げ活動している

※3 WEPs：2010 年 3 月に国連グローバル・コンパクト（UNGC）と UNIFEM（現 UN Women）が共同で作成した女性のエンパワーメント原則。女性の活躍推進に積極的に取り組むための行動原則で、企業が現在の慣行や基準、行動を調査し分析するための実践的な手引きとなっている

* 「D&I AWARD 2025」 <https://diaward.jobrainbow.jp/>

* ヤマハグループ DE&I https://www.yamaha.com/ja/csr/diversity_equity_inclusion/

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：鈴木 淳 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト <https://www.yamaha.com/ja/contact-us/>（取材申し込みや広報資料請求が可能です）
